



全国自治団体労働組合連合

ふりーじあ 第19号  
発行日：平成27年7月  
自治労連教宣部発行

本部 〒114-8508 東京都北区王子本町1-15-22 北区役所B1 全連協事務所内 (03)3907-5177



### 自治労連沖縄地方協議会 創立50周年記念式典が開催されました

6月27日、那覇市（ロワジールホテル&スパタワー那覇）において自治労連沖縄地方協議会創立50周年記念式典が行われました。自治労連からは濱村真光執行委員長が出席し、来賓に宮崎政久衆議院議員、島尻安伊子参議院議員、県内から市長、各労働組合関係者を招き、自治労連各単組OB及び多数の組合員の方々にもご臨席いただきました。式典では歴代執行委員長の表彰や祝辞、激励、余興などが披露され、沖縄地協50年の歴史をつくりあげてきた諸先輩方に感謝を申し上げるとともに、沖縄地協が今後ますます発展していくことを祈念しました。

#### 「自治労連濱村中央執行委員長挨拶」

本日は沖縄地方協議会50周年記念式典に多くの組合員の皆さんの出席のもと盛大に開催されましたことにお慶び申し上げますとともに、沖縄県民の行政サービスの提供に最大限たる努力をされている現職の組合員の皆様や、結成当初から様々な弾圧を跳ね除け、幾多の困難を克服し組合を結成され、組織拡大に向けご尽力なされた歴代の組合役員、またその組合員の先輩諸氏に深い敬意を込めつつ深甚なる敬意を表します。

「自由」「民主主義」「社会正義」を基調とし、「自由にして民主的な労働運動」に専心し、自治労連は昭和45年（1970年）結成されました。その4年前の昭和41年（1966年）、沖縄地方自治体労働組合連合が結成され、沖縄県内で働く組合員の経済的・社会的地位の向上を追求してこられました。一言で50年とは言いますが、今から50年前の沖縄県は皆様ご承知のとおりアメリカの統治下に置かれていました。そのような状況下において、「沖縄地方自治体労働組合連合」が結成されたことは、とても重要なことであつたと思います。

ここで、自治労連の歴史をひも解いてみます。先ほども述べました通り、自治労連の発足は

## 地域の祭り

やっぱり日本は  
素晴らしい！

## 荒

### マジヤク釣り大会 7月11日(金) 熊本県荒尾市

今年約900人の参加があつたマジヤク釣り大会。毎年恒例のイベントで、第12回目の開催となり、親子での参加をはじめ、幅広い年代の方が参加されました。マジヤク釣りとは、ラムサール条約湿地に登録された日本でも有数の干潟である「荒尾干潟」において、マジヤクを「毛筆」で釣ることです。



マジヤクとは、正式名称はアナジャコでヤドカリの仲間。体長10センチほどで深さ1〜2メートルほどのY字の形の穴の中で生息しています。巣穴の中に入ってくる異物を外に押し出す習性を利用して、巣穴に「毛筆」を差し込み、マジヤクが筆を押し返して出てきたところを捕まえる有明海の伝統漁法です。揚げ物、煮漬けに美味しい海の幸です。

さて、当日の天候は曇り。9時から干潟に出て、釜たてと呼ばれる穴を掘って、マジヤクが生息している巣穴に筆を入れ釣り始めます。今年天候の影響もあつて、釣果はあまり良いほうではなかったようですが、参加者の中には大物を釣り上げる人もいたようです。

参加者は、「簡単に釣れると思つていたが、想像以上に難しかった。」「最初はなかなか釣れなかったが、漁協の方などからアドバイスをもらい、何匹か釣つているうちにコツが掴めてきてとても楽しかった。」と楽しんだようでした。

マジヤク釣り大会会場には、観光協会などによる飲食ブースや先日世界遺産登録となつた万田坑のTシャツを販売するブースも設けられ、市内外の参加者に対して荒尾市をPRできました。

午前中いっぱい開催された大会も無事終了し、終了直後に大雨が降り出しましたが、大会の成功には影響ありませんでした。大会運営をはじめ、大会の受付やマジヤク釣りのサポートとして参加しています。

このイベントを通じて初めてマジヤク釣りを経験する方も多く、荒尾の夏の風物詩をもっと多くの方に体験してもらいたいと思います。

世界遺産になつた万田坑などまだまだ魅力満載です。荒尾市へいらつしやい！  
(荒尾市役所新職員組合・西卓也)

## 石

### 豊年祭

7月19日(日) 沖縄県石垣市

沖縄県八重山（石垣市大浜）で行われた伝統的な文化「豊年祭」をご紹介します。

八重山には古くからさまざまな地域の祭りがあつますが、豊年祭は毎年旧暦の6月に石垣島各地で行われ、今年の収穫に感謝し、また、来夏世（くまつゆ）を祈願して二日間行われる祭りです。来夏世とは来世の五穀豊穡を願う島の言葉です。

一日目は「オンプール」お嶽に氏子が集まり祈願、二日目は「ムラプール」旗頭、各分会の舞踊やエイサー、ツナノミン（日没とともに松明が焚かれ、鎌と槍を持った武者と武者の戦い）は真剣そのもので迫力満点。最後の大綱引き（100%稲縄全長140メートル）は、観光客も参加して盛大に行われました。

旗頭は高さ7〜10m、重さ40〜60キロあり、男性が一人で持ち上げます。また、それぞれの旗は色や形が違い、書かれた文字には意味が込められています。

今年の豊年祭は各地で7月18日から8月6日まで行われます。  
(石垣市職員労働組合・石垣やよい)



## 宮

### マンゴーまつり

7月19日(日) 沖縄県宮古島市

第6回マンゴーまつりが7月19日、市熱帯植物園内の特設会場で行われました。夏休み最初の日曜日に重なり大勢の親子連れが訪れていました。参加者らは、この日朝一番の取れ立ての甘くて果汁たっぷりのマンゴーを食べて笑みをこぼし、子供たちは涼を呼ぶマンゴーかき氷に「美味しい」と大きな声を上げて喜んでいました。会場では、先着30人を対象にマンゴーが1つずつプレゼントされたほか、切り分け

たマンゴーの袋詰めも2000人分用意され、試食をした人たちは夏の味覚を堪能していました。また、マンゴーが市価より2割ほど安く販売されているコーナーでは、訪れた地元の人や観光客が次々と買い求めていました。

マンゴーまつりは拠点産地の認定を受けた宮古島産マンゴーの産地消による消費拡大と県内外にマンゴーのPRを図りブランド化を推進するのが目的で開催されています。

(宮古島市職員労働組合・湧川博昭)



昭和45年4月1日、その2年前の昭和43年「自治労連全国準備会」を設立しました。発足当時は、「15単組から構成する新自治労九州ブロック協議会、山形県鶴岡市役所職員会、山口県下関職員組合」の計17単組2200名から成り立ちました。年、同じ頃、「沖縄地方自治体労働組合連合」も全官公の路線を指向し、昭和44年11月1日第4回定期大会により全官公加盟を満場一致で可決し、更に自治労連結成準備会参加を確認しました。資料によりますと、当時の沖縄地方自治体労働組合連合委員長は「新城哲夫」委員長、組合員数1400名でありました。このような歴史がある中、公務員労働者を取り巻く環境はますます厳しくなります。特に昨今、労働組合の組織率の低下、組合に対する無関心さが取りざたされており、これから新たな時代を迎える今、もう一度、組合が果たすべき役割や必要性を再認識し、組合員の皆様の期待に応えることのできる活動を展開していかなければなりません。

そのような中であつても、守るものは守り、変えるものは大胆に変えていく。「自由にして民主的な労働運動」を基軸とし、自らと自らの組織を常に見つめなおし、これから何が生れて何を育てていくのかを私たち自身が反芻しながら、今後の運動と行動を起こしていかなければなりません。私たちの知恵のみならず、私たちの強い意志と行動で新しいコンセプトを作っていくことがこれからの私たちの労働運動に問われているのだらうと思われまふ。労働運動にしても、各職場での業務にしても同じですが、決して楽な道に進んではなりません。楽しい道に進むことこそが、これからの人生において大きな財産になります。

最後になりますが、今日の半世紀という節目の記念式典は、今後、結成100周年とさらに年輪を重ねる事への新たな一歩を踏み出す節目となる記念式典でありますとともに、『自由にして民主的な労働運動』という運動理念を後世に伝承され、沖縄地方協議会がさらに発展されること、また、沖縄地方協議会の組合員の皆様及び、組合OBの皆様の活躍、ご健勝を祈念いたします。自治労連を代表してのご挨拶といたします。

本日は誠にありがとうございます。

次ページにつづく

# 自治労連 沖繩地方協議会 50周年式典

## 《主催者・沖繩地方協議会 仲間典登中央執行委員長挨拶》

当協議会設立50周年の節目を迎え、記念式典を盛大に挙げていきます。誠に光栄であり、これまで、当会の運営及び組合活動にご尽力された歴代役員並びに関係者各位のご苦労に對し重ねて深く感謝を申し上げます。

本協議会は、1966年、昭和41年に設立され、半世紀にわたり、自由と民主主義を運動原則とした公務員労働運動を展開し、組合員の経済的安定と社会的地位向上を図るための活動を行ってまいりました。結成後、最盛期には12単組、約900名の会員により構成されておりましたが、市町村合併による組織改編を経て、現在は、うるま市、宮古島市、石垣市、与那国町の4単組、421名による組織構成となっており、会員数の減少による組織力低下は当協議会において大きな課題となっております。本日の創立50周年を契機に県内各自治体に対する組織発足の働きかけを推進してまいります。



【挨拶をする沖繩地協・仲間典登中央執行委員長】

さて、本県を取り巻く状況は内政・外交ともに激動期を迎えております。皆様ご存知のとおり、今年度は、多くの尊い命が犠牲となった先の大戦の終戦から70年の節目を迎えつつありますが、普天間基地の辺野古移設をめぐる、政府と沖縄県との対立が一層深まっており、当協議会のスタンスといたしましては、日米両政府間において、辺野古移設への合意がされたという事実に対して、移設先の具体的な展望もない中、県外移設を主張する沖縄県民の行動はあまりに不条理であり、普天間基地の固定化に繋がりがかねないとの不安を抱かざるを得ず、辺野古移設が唯一の解決策であるという政府の見解を支持するものであります。近隣諸国からの軍事的脅威にさらされている今日、何故沖縄に基地が必要なのかという意義を理解し、基地との共存により持続的経済の発展を目指すことこそ、沖縄にとつて最良な選択だと思料します。誠に残念ながら、辺野古移設反対を唱える翁長県知事誕生以降、県内のマスコミや市民団体、革新系労働団体による異常なまでの反対行動により、県外移設が沖縄県民の総意であるかのように捉えられ、賛成派が賛成と言えない重苦しい空気が流れております。今こそ、我々を始めとする保守系団体が一致団結して大きな声を上げ、辺野古移設賛成の機運を高めていくことを運動方針に、署名活動や要請行動を展開することが重要だと考えますので、各組合員のご理解と積極的な協力をお願い申し上げます。

こうした厳しい県内情勢が続く中、我々、公務員労働者を取巻く環境も年々厳しさを増しております。地方自治体においては、地方交付税の削減に伴う歳出抑制を図るため、職員の数削減が行われ、職員一人当たりの業務量増加により負担感が増しております。また、今年4月には地域間や世代間の給与配分を見直す給与制度の総合的見直しにより、給与水準の2%引下げ改定が実施され、さらに、来年4月からは地方公務員法の改正による人事評価制度施行に伴い、職員の能力、業績に応じた人事・給与制度が実施されます。迅速で質の高い行政サービスを提供するためには、職員一人ひとりが資質を高めるために、働く意欲を持つことが肝要であるため、各単組においては人事評価制度の導入にあたり組合員の不利益を極力解消するよう当局に対し十分な要求、交渉を行っていただきたいと思っております。



【歴代地協中央執行委員長の皆様】

当協議会では、これまで、各種研修会や学習会及びスポーツ交流等を通して組合員相互の連帯と親睦を図るとともに、全国の執行委員として役員を派遣し、自治労連活動の今後における方向性、連合を始めとする各種団体との関わり、労働条件の維持改善等をテーマに議論を深めてまいりました。若年層の労働組合離れが進む中、自治労連の理念、組合活動の意義、労働運動と政治との関わり等を丁寧に説明し、組合員の獲得、組織の拡大に繋げていくことが我々の大きな役割であります。自治労連沖繩地方協議会が「友愛と信義」の精神のもと益々の飛躍発展を遂げるとともに、本日ご臨席の皆様方のご健勝と更なるご活躍を祈念し、主催者代表のあいさつとさせていただきます。ありがとうございます。

## 安倍総理沖繩へ来たる？

式典で行われた余興では、沖繩県石垣市在住の大道勇樹さんが、安倍晋三総理のモノマネを披露。会場の皆さんを一時に笑わせてまいりました。独自のユーモア性に富んだ表現で、安倍総理を忠実に再現。しぐさ、自然な動作、間の取り方、手振り、身振り、全てにおいてパーフェクト！かなり観察されたことでしょうか。溢れんばかりの笑いで大ウケ！会場は大盛り上がり。お見せできないのが残念なくらい絶賛でした。

## みんなが集まる場所…それが自治労連

編集後記 教育宣伝部・石垣やよい

沖繩地方協議会の50周年式典記事の編集にあたり、同協議会に携わってきた、多くの先輩方の様々な苦勞と歴史を垣間見、その組織力、結束力に感激を覚えました。志を同じくする組合員と共に力を合わせ、楽しみながら活動ができるようにと、にわかに情熱がふつふつと…この熱い思いが、那覇の地で、話は尽きず…二次会…三次会…四次会へと…

50年という歴史を踏まえ、新たな歴史を築いていくという気持ちで一歩ずつ取り組んでいきたいと思っております。

## お知らせ

第11回コープ全国代表者会議  
平成27年8月29日～30日（福岡市）  
万田坑（三井三池炭鉱）が世界遺産登録  
詳しくは自治労連ホームページの  
委員長コラム参照  
<http://www.jichirouen.jp/>

# 自治労連構成組織定期大会（5月～7月）

- 5月22日（金） 八代市役所職員組合 平成27年度通常総会 濱村中央執行委員長出席
- 5月29日（金） 玉野市役所職員組合 第55回定期大会
- 6月20日（土） 釧路市役所労働組合 第18回定期大会 関谷副中央執行委員長出席
- 6月26日（金） 荒尾市役所新職員組合 平成27年度通常総会 関谷副中央執行委員長出席
- えびの市役所職員組合 第42回定期大会 唐田書記長出席
- 7月10日（金） 周南市役所職員組合 第47回定期大会 濱村中央執行委員長出席
- 日向市役所職員組合 第44回定期大会 唐田書記長出席
- 7月17日（金） 大村市職員組合 第50回定期総会 大村新水道労働組合 第10回定期総会 湧川副中央執行委員長出席 東北町職員組合 第47回通常総会 濱村中央執行委員長出席



## えびの市役所職員組合 情報誌愛称を「キャンパス」に決定

えびの市役所職員組合は、平成27年6月26日（金）に第42回定期大会を開催し、平成26年度の活動経過報告及び収支決算、平成27年度の活動方針及び収支予算等について審議をいただき、満場一致で可決・承認されました。

私たちは、先輩方が築き上げてこられた運動や理念を大切にしながら、これまで目標とされてきた「組合員だけで100名」というものを見据えて今後も組織拡大に努めます。

また、今年度は情報誌である「キャンパス」とおして、可能な限り組合員および協力者の皆さんと情報の共有を図っていきます。

情報誌名の由来になった、「白いキャンパス」に絵を描くように、えびの市職員組合としてのカラーを今までの以上に際立らせた「…」という思いに込められるような活動を展開します。

（委員長・湯田正樹）

- 7月24日（金） 全北区職員連絡協議会 第31回定期総会 熊本市役所第一職員労働組合 第50回定期大会 濱村中央執行委員長出席
- 7月29日（水） 長洲町職員組合 平成27年度定期総会 濱村中央執行委員長出席



【挨拶をする唐田書記長】

## 荒尾市役所新職員組合 「コチヨウラン」ともに通常総会

荒尾市役所新職員組合は、6月29日に通常総会を開催しました。

今年の通常総会はこれまでと一風変わった総会となりました。みなさん、新聞報道等で十分ご存知だと思いますが、本市は、現在、現市長が公職選挙法第199条で禁止されている「寄付行為」により、揺れています。

内容は、4月の荒尾市議会議員選挙で当選した全議員に対し、「コチヨウラン」を贈り、現在警察当局の調査中であり、今後の動向が見逃せない状況です。

組合としては、組合員と市民への説明責任を果たすべく要求書を提出しましたが、今後この動向には注視していかねければなりません。

そのような中で本組合としても、一致団結して組合運動を展開すべく、通常総会の会場に、華（コチヨウラン）を添えてみました。これは寄付行為ではありません。執行委員長の「気合」です。

本市には、競馬場跡地活用問題、市民病院建設問題、内部の意識統一が図られていない状態であるという問題など山積する問題に對し、組合としても「是非々々」の立場で、組合員への不利益がないよう「気合」を入れて奮闘していかねばなりません。

組合を代表する委員長の「気合」という意気込みをしっかりと感じることができた通常総会となりました。

ちなみに、「コチヨウラン」の花言葉は、幸福が飛んでくる一です。「明治日本の産業革命遺産が世界文化遺産登録という幸福は飛んできました。荒尾市には、その遺産の一つ、「万田坑」があります。

この幸福のほかに、組合員のみなさんに幸福が飛んでくるように、執行部一同「気合」を入れることができた通常総会の紹介でした。万田坑に皆さんが飛んでくるのを待っています。

（書記長 西卓也）



【執行委員長 荒尾市新職員組合 西卓也】